

式 辞

校内の木々にも春の訪れが感じられる今日の佳き日に、保護者の皆様方のご臨席を賜り、「第四七回卒業証書授与式」を挙行できますことは、卒業生はもとより、私たち教職員にとりましてこの上ない喜びでございます。心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました三四七名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。心からお祝い申し上げます。

本校の卒業生は皆さんを加え、一八四〇四名となりました。

さて、今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制限のある学校生活を余儀なくされました。皆さんの学年は入学式も行うことができず、学校行事や部活動も中止や縮小するなど、たくさんの思い出を作るはずの高校生活の大半がコロナウイルスに翻弄されました。今日の卒業という晴れの日も、在校生をはじめとした多くの方々との場所でお祝いしたいところですが、規模を縮小して行わなければならないことを残念に思います。それでもこれまで皆さんを励まし、支え、応援してくれた人たちの、皆さんをお祝いする気持ちに変わりはありません。在校生は教室からこの式に参加しています。

また、そのような中でも、この状況も少しずつ、よい方向へと変わってきています。今年度は全校生徒揃っての体育祭や文化祭の一般公開などが実施できたことは大変喜ばしいことでした。さらにこうして今日、保護者の皆様方とともに皆さんと式に臨むことができることに大変感激しています。

皆さんは入学以来、本校の校訓である「知・徳・体 文武両道」の言葉を大切に学校生活を送ってきました。

日々の授業をはじめ、高校生活の中で、多くの人と出会い、友人の大切さや友情のすばらしさを実感していることと思います。

皆さんは、今日、越谷南高校からそれぞれの夢と希望を持って、新たな道へ歩み出していきます。皆さんを迎える今の日本は、人口減少社会が到来し、急速な少子高齢化や人口構造の変化など大きな変化の時期を迎えています。加えて、新型コロナウイルス感染症が生活様式や社会経済の在り方を一変させ、新しい働き方や暮らし方が着実に浸透してきています。大きな時代の転換点を前にして、皆さんには、失敗を恐れず、困難な課題にも果敢にチャレンジしていただきたいと思います。

その社会へ歩み出すにあたり、皆さんに三つのことを申し上げます。

一つ目は、「絶えず学び続ける意欲と姿勢を持ち続けてほしい」ということです。

皆さんが活躍するこれからの時代は、グローバル化が非常に速いペースで進み、国内だけに目を向けていれば生活が成り立つ時代では無くなってきています。今後もこの勢いは加速度的に増していくことが予想されます。これからのグローバル社会を支える人材は、自由度が高く、モビリティが高いことが必要です。

皆さんは、人生100年時代を生きることになります。今までの人生は、「教育、仕事、引退」という3ステージの生き方で問題はありませんでした。しかし、人生が長くなるこれからの時代は、生涯に二つもしくは三つのキャリアを持つようになり、まさしくマルチ

ステージの人生になると思われます。

さらに、これからの数十年で、古い職業が消滅し、新しい職業が出現するなど職業は大きく入れ替わるでしょう。

職業の入れ替わりは今後も続き、多くの職業がロボットと人工知能によって代替されるか補完されると言われています。変化を恐れるのではなく、新しいことへの挑戦を楽しむ心、人と違うことへの挑戦を忘れない心を養うことが大切です。

皆さんは、これまでに、数多くの貴重な体験を重ねながら、時間を工夫して勉学に励んできました。これからは学び続けることを楽しむこと自体が、これからの生きる力になると思います。

二つ目は、「素直な心」を持つということです。

皆さんに伝えたい「素直な心」とは自分を育てる心です。

今後、皆さんが踏み出す次のステージでは、次第に周りの人々から一人の大人として見られるようになり、扱われていきます。そして、今までのような懇切丁寧な指導やアドバイスを受ける機会は次第に減っていきます。また、皆さん自身の自己もより一層確立され、自分の技量、力量に対する自信も大きくなっていくでしょう。やむを得ないことかもしれませんが、今までのように周りからのアドバイスに耳を傾け、自分を省みて、変えていくことができにくくなってしまふことがあります。

しかし、そのような年代となっても、寄せられるアドバイスや指導があります。それは時として、皆さんの考え方や取り組みと違ったり、否定するような内容となることもあります。でも、この受け入れにくいアドバイスや指導とどう向き合っていくかが、皆さんがさらに大きく成長していく上で重要なポイントとなっていくのです。

そのときに持っていて欲しい心が「素直な心」です。

戦後の日本を代表する実業家のひとりで「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助氏は、生涯「素直な心」の大切さを唱えていました。そして「素直な心」というのを「寛容にして私心なき心、広く人の教えを受ける心、分を楽しむ心である」と定義しています。

私は、この心こそがこれからの皆さんにとってまず第一に大切にしたい「素直な心」であると思っています。

先生、上司、先輩、友達から言われたことを先入観を持たずに謙虚にしっかり聞き、その中に自分を成長させるヒントが少しでもないかよく考える。そしてヒントを見つけたら、それを生かして自分を成長させていく、その姿勢を決して忘れないでください。

皆さんが、これからも「素直な心」を持ち続け、多くのことを学び、吸収し、自分の夢を実現してくれることを心から願っています。

そして三つ目は、「感謝する気持ち」を忘れないでほしいということです。

人は決して一人では生きていけません。これからも多くの出会いがあり、交流があるはずです。その中で「感謝する気持ち」を持ち続けてほしいと思います。今までの人生の中でも感謝すべき人はたくさんいると思いますが、

まず今日、第一に感謝しなければならないのは、何と言っても、皆さんを本日まで育ててくれた保護者の方々です。皆さんの卒業を一番喜んでおられるはずです。皆さんの中には、もしかしたら、当たり前のように食事を作ってもらい、洗濯をしてもらい、朝も起こしてもらっていた人もいないのでしょうか。

今日是非、このあとでも、家に帰ってからでもいいので「ありがとう」と言ってあげてください。たったの五文字です。皆さんのこの一言がどんなに嬉しいか。救われた気持ちになるか。必ず、実行してください。

結びになりますが、卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、心からお祝いを申し上げます。お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆様にはさぞや苦労も多かったことと思います。今日の佳き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員一同、心よりお慶びを申し上げます。今後とも本校の教育にお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

最後に、皆さんが、越谷南高校の卒業生としての自信と誇りを持ち、益々活躍されることを心から願いまして式辞といたします。

令和五年三月九日

埼玉県立越谷南高等学校長
井上 一也

